

令和 8 年 9 月 30 日公表

令和 7 年度野生鳥獣資源利用実態調査結果 (食肉処理業者)

ジビエ利用量は過去最大の 3,155 t
前年度に比べ 17.8%増加

【調査結果の概要】

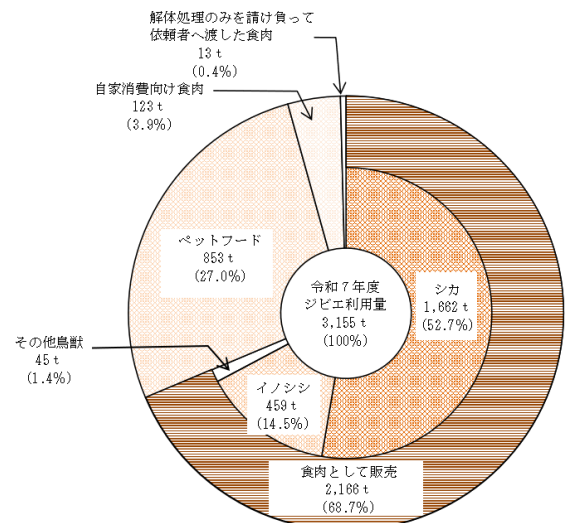
1 野生鳥獣のジビエ利用量

令和 7 年度に食肉処理施設で処理された野生鳥獣のジビエ利用量は 3,155 t で、前年度に比べ 17.8%増加した。

このうち、食肉として販売された数量は 2,166 t で、前年度に比べ 25.6%増加した。鳥獣種別にみると、シカが 1,662 t で同 37.2%増加、イノシシが 459 t で同 5.4%減少した。

なお、クマについては、食肉卸売・小売販売数量が 18 t で、前年度に比べ 157.1%増加した。

図 野生鳥獣のジビエ利用量（全国）



注： 構成割合については、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下同じ。）。

表 1 野生鳥獣のジビエ利用量（全国）

単位：t									
区 分	合 計	食 肉 処 理 施 設 が 販 売						解体処理の みを請け負っ て依頼者へ 渡した食肉	自 家 消 費 向 け 食 肉
		計	食 肉				ペ ッ ト フ ード		
			小 計	イ ノ シ シ	シ カ	その他鳥獣			
令和 6 年度 7	2,678	2,554	1,724	485	1,211	28	830	20	104
	3,155	3,019	2,166	459	1,662	45	853	13	123
対前年度比（％）	117.8	118.2	125.6	94.6	137.2	160.7	102.8	65.0	118.3
構成割合（％）									
令和 6 年度 7	100.0	95.4	64.4	18.1	45.2	1.0	31.0	0.7	3.9
	100.0	95.7	68.7	14.5	52.7	1.4	27.0	0.4	3.9

○ 本調査における食肉処理施設とは、食品衛生法（昭和 22 年法律第 233 号）に基づき、食肉処理業の許可を有する食肉処理施設のうち、野生鳥獣の食肉処理を行っている全ての食肉処理施設である。

表2 野生鳥獣の食肉卸売・小売販売数量（全国）

区 分	計	イノシシ	シカ	その他 鳥獣	単位：t
					うちクマ
令和6年度	1,477	403	1,050	23	7
7	1,874	402	1,433	38	18
対前年度比（%）	126.9	99.8	136.5	165.2	257.1

2 野生鳥獣の解体頭・羽数

食肉処理施設で処理された野生鳥獣の解体頭・羽数は20万3,574頭・羽で、前年度に比べ6.7%増加した。鳥獣種別にみると、シカが14万8,048頭で同16.1%増加し、イノシシが3万6,809頭で同8.5%減少した。

なお、クマについては、1,172頭で前年度に比べ158.7%増加した。

表3 野生鳥獣の解体頭・羽数（全国）

区 分	計	イノシシ	シカ	そ の 他 鳥 獣			
				小 計	クマ	鳥 類	そ の 他
令和6年度	頭・羽 190,716	頭 40,247	頭 127,513	頭・羽 22,956	頭 453	羽 19,905	頭・羽 2,598
7	203,574	36,809	148,048	18,717	1,172	13,683	3,862
対前年度比（%）	106.7	91.5	116.1	81.5	258.7	68.7	148.7
構成割合（%）							
令和6年度	100.0	21.1	66.9	12.0	0.2	10.4	1.4
7	100.0	18.1	72.7	9.2	0.6	6.7	1.9

3 野生鳥獣を処理して得た金額

食肉処理業者が野生鳥獣を処理して得た金額は64億3,700万円で、前年度に比べ18.8%増加した。

このうち、食肉の販売金額は54億2,200万円で、前年度に比べ19.0%増加した。鳥獣種別にみると、シカが34億9,400万円で同26.7%増加し、イノシシが16億3,400万円で同0.5%減少した。

なお、クマについては、食肉卸売・小売販売金額が1億4,000万円で、前年度に比べ225.6%増加した。

表4 野生鳥獣を処理して得た金額（全国）

単位：100万円

区 分	合 計	販 売 金 額										解 体 処 理 の 請 負 料 金
		計	食 肉				食 肉 以 外					
			小 計	イノシシ	シ カ	その他 鳥 獣	小 計	ペ ッ ト フ ー ド	皮 革	鹿角製品 (鹿茸等)	そ の 他	
令和6年度	5,418	5,404	4,556	1,642	2,758	156	848	792	38	16	2	14
7	6,437	6,428	5,422	1,634	3,494	294	1,006	945	34	23	4	9
対前年度比(%)	118.8	118.9	119.0	99.5	126.7	188.5	118.6	119.3	89.5	143.8	200.0	64.3
構成割合(%)												
令和6年度	100.0	99.7	84.1	30.3	50.9	2.9	15.7	14.6	0.7	0.3	0.0	0.3
7	100.0	99.9	84.2	25.4	54.3	4.6	15.6	14.7	0.5	0.4	0.1	0.1

表5 野生鳥獣の食肉卸売・小売販売金額（全国）

単位：100万円

	計	食肉卸売・小売販売金額			
		イノシシ	シカ	その他 鳥獣	うちクマ
令和6年度	3,557	1,316	2,127	113	43
7	4,349	1,394	2,726	230	140
対前年度比(%)	122.3	105.9	128.2	203.5	325.6

◎ 累年データ

ジビエ利用量、解体頭・羽数及び野生鳥獣を処理して得た金額の推移（全国）

区 分	ジビエ利用量	解体頭・羽数	野 生 鳥 獣 を 処理して得た金額
	t	頭・羽	100万円
平成28年度	1,283	89,230	3,030
29	1,629	96,907	3,147
30	1,887	114,655	3,821
令和元	2,008	122,203	3,769
2	1,810	134,270	3,497
3	2,127	144,896	3,937
4	2,085	157,985	4,075
5	2,729	182,627	5,405
6	2,678	190,716	5,418
7	3,155	203,574	6,437

資料：農林水産省統計部『野生鳥獣資源利用実態調査』

【統計表】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files/data?sinfid=000040499289&ext=xls>

【調査の概要】

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/jibie/gaiyou/>

【調査結果の主な利活用】

- ・ 食料・農業・農村基本計画（令和7年4月11日閣議決定）における捕獲鳥獣のジビエ利用量のKPI（政策目標）の達成に向けた毎年度の進捗を継続して的確に捉え、進捗を踏まえた毎年度の各種施策を講ずるための資料
- ・ 鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律（平成19年法律第134号）に基づき講ずることとされている措置の具体的な取組を検討するための資料

【ホームページ掲載案内】

- ・ 本資料は、農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「その他（食料需給表、産業連関表、食品産業、環境など）」の「農道・資源・環境」の「野生鳥獣資源利用実態調査」で御覧いただけます。

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/jibie/#y>

- ・ 本資料の詳細な数値はホームページに掲載（令和8年12月予定）します。
- ・ 公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせします。

【関連リンク】

ジビエ利用拡大コーナー : 農林水産省＞組織別から探す＞農村振興局
＞ジビエ利用拡大コーナー

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/gibier/>

鳥獣被害対策コーナー : 農林水産省＞組織別から探す＞農村振興局
＞鳥獣被害対策コーナー

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/>

捕獲数及び被害等の状況等 : 環境省＞政策＞自然環境・生物多様性
＞野生鳥獣の保護及び管理（鳥獣保護管理法等）
＞捕獲数及び被害等の状況

<https://www.env.go.jp/nature/choju/docs/docs4/>

お問合せ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部
生産流通消費統計課消費統計室 価格・消費動向班
電話：（代表） 03-3502-8111 内線 3718
（直通） 03-6744-2049

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 統計広報推進班
電話：（代表） 03-3502-8111 内線 3589
（直通） 03-6744-2037



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



SAFF

データの力で。

農林水産統計
Statistics of Agriculture,
Forestry and Fisheries



2027年国際園芸博覧会
2027.3.19-9.26 横浜・上瀬谷

